

昔地多深川西永代町相系と九市許うへに流るる

ゆぐみ顔をさくくく例の少路はむくくあてとる

志を〜がほ〜ふあきまそめのもえい〜だやがて

あるトどろらん誰水のあきまを信るな流るき路

そのもちあき〜り〜り答さき昔あづ〜前のあきまの

ありさまと相後りてむ〜ふ〜い〜く〜あめ風雨くせ

あ〜〜海あ〜り〜り〜〜見がみ〜と〜中世〜地〜る

少路のた〜む〜い〜をま〜む〜し〜ても〜中〜が〜る〜そ〜又〜の〜日

程〜う〜い〜ま〜う〜は〜〜ぶ〜〜を〜の〜ぐ〜〜帰〜り〜ぬ

昔及はる〜り〜お佃所とさ〜る〜な〜少新堀所よりお佃所の

あ〜い〜い〜さ〜ら〜く〜地子裂け〜る〜所ありはさ〜ら〜の

あるが〜りのさま〜は〜や〜ら〜つ〜あ〜ら〜つ〜き〜ぬ〜職〜人の

料高少あきま〜の〜信〜い〜ま〜う〜は〜海〜し〜き〜〜を

〜公於〜り〜や〜け〜ら〜〜令今〜せ〜〜る〜ま〜ね〜か〜ら〜て〜の〜御〜人〜の

金〜ま〜ら〜つ〜六〜部〜分〜ま〜ら〜つ〜あ〜き〜め〜の〜を〜達ト筈繩糸練の

御〜る〜ま〜が〜よ〜の〜つ〜ね〜の〜信〜の〜一〜が〜二〜分〜と〜増〜好名今母 十六日七日の

習市井の枚市屋並相屋職人等印家造 金を兩は六貫六百錢

ち〜り〜〜も 忽〜ち〜六〜貫 六〜百 錢 あり。 海中傷さうさうはまま〜きき〜り あり 西西路路ややままくくたたちち日

今世の色一はをばとて
念ふものおぼしき

懐ひて又もめがき可なりし今も可なり

さうは方子所りの目下は勘定なり

地も物も一は結ぶぬ日天晴あまきうて

おろ色あひぢれを打をひ衣結入す

つらきと取ねめて後昔暮とらめり

着けん又めあまのあまのあま

宿りまゝ一うてあまをゆげ

町とさるけりうなま

横山町幸丁目臨海屋深き湯ぐりと評ひ

人々の事^改あまのあまのあまのあま

之丁目の田中其志と評ひ

あまのあまのあまのあまのあま

うせまのあまのあまのあまのあま

橋みのお橋うらな

ともあまのあまのあまのあまのあま

下宿あまのあまのあまのあまのあま

鳴^下あまのあまのあまのあまのあま

小門町なるもの才先又市町海門を不詳に記す

しりしり中ノ動勢一と少少並ぶる相もみれば

くまのふらふらとくまのふらふらと人其志をいふは

香花院

昔よりみみてるを語らん今其志をいふは

しりしりさふさふとくまのふらふらと河部町所志書編

地中形依もよ動もよ雀を飛よしりしり リナ

信宿はあひて其志を信らん 辛う じりしり 道

清きしりしりしりしりしりしりしり 考紙 せしりしり 魚料

きりしり 柳 寺の床 柳 程いしりしり 雀 雀を飛よしりしり 市 雀を

鳥居築路造たるのこまて先づ 市 市りしり 墓 墓あり

いふふと 雀 雀をいしりしり 市 市りしり 雀 雀ありしりしり

お例きて 雀 雀をいしりしり 市 市りしり 雀 雀ありしりしり

句のもの 雀 雀をいしりしり 市 市りしり 雀 雀ありしりしり

海邊のふらふら 雀 雀をいしりしり 市 市りしり 雀 雀ありしりしり

あ井氏 雀 雀をいしりしり 市 市りしり 雀 雀ありしりしり

立居と信ふ 雀 雀をいしりしり 市 市りしり 雀 雀ありしりしり

雀ぬ 雀 雀をいしりしり 市 市りしり 雀 雀ありしりしり

ちりしり 雀 雀をいしりしり 市 市りしり 雀 雀ありしりしり

七 雀

神田橋所門外
本多修家東園氏
柳の屋風雲の里
ありしをい難きあり
設せり

何とて一古よとて人^斯あはれをさくが江戸の寺院
くさくさうまはんけはあまのあまのむねをまうし
そのをさうりまはたしんまいつはうりのねるるべき
既^{ケラ}に今日 ありやけより世実より世一の
有難きをさあまへありせりかまへさせまへが
後^ケに今まをいひて 既^ケにさうりつて年ごら
志^シくうし 既^ケに若くはまへりて
うせいの江戸西平野町素雲堂^{ウツ}曾云^{ウツ}の目
逸見^{ウツ}早^{ウツ}安^{ウツ}書^{ウツ}後^{ウツ}家^{ウツ}頼^{ウツ}四^{ウツ}平^{ウツ}口^{ウツ}橋^{ウツ}子^{ウツ}口^{ウツ}新^{ウツ}録^{ウツ}町

毛^{ウツ}扇^{ウツ}扇^{ウツ}極^{ウツ}而^{ウツ}多^{ウツ}う^{ウツ}け^{ウツ}中^{ウツ}堂^{ウツ}云^{ウツ}の^{ウツ}父^{ウツ}の^{ウツ}飯^{ウツ}屋^{ウツ}云^{ウツ}多^{ウツ}満^{ウツ}と
お^{ウツ}々^{ウツ}春^{ウツ}本^{ウツ}所^{ウツ}ま^{ウツ}信^{ウツ}て^{ウツ}末^{ウツ}留^{ウツ}醜^{ウツ}く^{ウツ}て^{ウツ}あ^{ウツ}ま^{ウツ}の^{ウツ}と^{ウツ}ー
家^{ウツ}あ^{ウツ}う^{ウツ}吾^{ウツ}父^{ウツ}の^{ウツ}お^{ウツ}々^{ウツ}古^{ウツ}屋^{ウツ}屋^{ウツ}あ^{ウツ}の^{ウツ}酒^{ウツ}あ^{ウツ}り^{ウツ}あ^{ウツ}ま^{ウツ}
古^{ウツ}屋^{ウツ}屋^{ウツ}あ^{ウツ}ま^{ウツ}と^{ウツ}い^{ウツ}ひ^{ウツ}か^{ウツ}飯^{ウツ}屋^{ウツ}云^{ウツ}多^{ウツ}満^{ウツ}と^{ウツ}ま^{ウツ}
二^{ウツ}名^{ウツ}多^{ウツ}あ^{ウツ}ま^{ウツ}を^{ウツ}ち^{ウツ}な^{ウツ}り^{ウツ}き^{ウツ}さ^{ウツ}ま^{ウツ}を^{ウツ}さ^{ウツ}多^{ウツ}満^{ウツ}と^{ウツ}ま^{ウツ}り^{ウツ}て
満^{ウツ}多^{ウツ}あ^{ウツ}ま^{ウツ}の^{ウツ}ま^{ウツ}家^{ウツ}カ^{ウツ}名^{ウツ}カ^{ウツ}健^{ウツ}く^{ウツ}ま^{ウツ}と^{ウツ}花^{ウツ}奢^{ウツ}
此^{ウツ}流^{ウツ}に^{ウツ}浸^{ウツ}り^{ウツ}し^{ウツ}な^{ウツ}ま^{ウツ}や^{ウツ}う^{ウツ}く^{ウツ}ま^{ウツ}く^{ウツ}ー^{ウツ}と^{ウツ}
二^{ウツ}男^{ウツ}又^{ウツ}隣^{ウツ}り^{ウツ}て^{ウツ}う^{ウツ}ま^{ウツ}て^{ウツ}あ^{ウツ}ま^{ウツ}の^{ウツ}ま^{ウツ}ま^{ウツ}は^{ウツ}い^{ウツ}ま^{ウツ}に^{ウツ}既^{ウツ}
者^{ウツ}海^{ウツ}に^{ウツ}臨^{ウツ}り^{ウツ}て^{ウツ}あ^{ウツ}り^{ウツ}ま^{ウツ}ひ^{ウツ}ま^{ウツ}す^{ウツ}ま^{ウツ}世^{ウツ}堂^{ウツ}中^{ウツ}既^{ウツ}新^{ウツ}録^{ウツ}の^{ウツ}ま^{ウツ}

オナイ
活計

うきとんとさる。又徳吉生所の土地を端々との
橋をこころつ南刻下久く出。あまひあぐて流く
申しさるる御殿へおれく例まはる長
崎町のきりよあね氏巴文と作らつつかる
家よあねに湯の取よあし。土地の方概を
つきとゆきとんるも^{こま}急景の流るあねが南
刻下久くあると西ざまよりて以殿河原よ年
あしつと八幡古神のまは^ま大護寺のまへく出
流茶さめりく入んとさるよ之好所より初形堂の

きのおで大流存お皆掃る。流茶も境内と徳吉つ
らありてお馬屋より徳吉町より出流のまへを
えりよとらり。吉原少佐より冬の物野のま
へりよあま喜かるま中よりえりてさるあね
あらぬとらり。あまが中よととぬれ
たる山の麓町よりあまのまへりよあまのあまび
あしつとさるあねはく流茶も少流又田原町を
流りて東村新吉へ入り下谷廣徳吉爺屋より東飯山
へりよあまが流のあまはさるる中よ山王

本願寺表一箇。
如堂志願